

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

「早田ブリ祭り」が開催されました -3月17日(土) 尾鷲市早田町-



3月17日(土)、尾鷲市早田町コミュニティーセンター・魚市場において、地元特産のブリを県内外に PR して地域の活性化につなげようと、住民や同町の漁業会社「早田大敷」など漁業関係者らでつくる「早田ブリまつり実行委員会」の主催で、「第5回早田ブリまつり」が開催された。当日は、県内外から多くの家族連れが訪れ(約1,000名:主催者発表)、新鮮なブリの刺し身や、大敷汁に舌鼓を打っていた。また、ブリのべっこうずしや魚ごはんなどの海の幸の販売も行われ、両手に荷物を抱えた人々で賑わっていた。

また、ブリを1匹まるごと買うと、その場で漁師にさばいてもらえるコーナーもあり、当日水揚げされたばかりのブリ100本が1時間で完売されるなど、大盛況のうちに閉幕となった。



会場の様子
(1,000名もの来場者で賑わった)



青さのりなどの海藻類の販売もあった。

JAグループ国産農畜産物商談会 -3月14日~15日東京国際フォーラム-



3月14、15日の2日間にわたり、東京国際フォーラムにおいて第12回JA

グループ国産農畜産物商談会が行われた。

本商談会は、国産農畜水産物やその加工品などの販売チャネルの拡大を目的として、各出展者の安全・安心で地域色のあふれた自慢の商品を実際の取引につなげていくための取組として開催されている商談会。本会から伊勢まだい、マハタ等の養殖魚の他、シジミなどの水産加工食品、青さのり、黒のり等海藻類を PR した。

各ブースでは、積極的な売り込みがあり、各分野から来場しているバイヤーも興味深く聞き入っていた。

来場者は 2 日間で 5,244 名にのぼり、県産水産物を大いに PR する場となった。



出展した県内産水産加工品



第 40 回全国海の子絵画展表彰式
-3 月 26 日 (月) 東京コープビル-



3 月 26 日 (月) 東京千代田区のコープビルにおいて、第 40 回全国海の子絵画展表彰式 (主催: JF 全漁連) が行われ、特別賞の受賞者に賞状が手渡された。

本県からは小学校の部で、市立尾鷲小学校 6 年の中崎ちひろさん、中学校の部からは市立尾鷲中学校 1 年の岡ももこさんが、それぞれ水産庁長官賞を受賞した。



中崎ちひろさんの作品
「郷土の味 あぶりを守るおばあちゃん」



岡ももこさんの作品
「香ばしい匂いの子サバあぶり作り」

【主な予定】

○3 月 30 日 (金)

第 5 回汐青さのり入札会 (松阪)

○3 月 31 日 (土)

第 8 回錦ぶりまつり (錦)